



4月誕生者
 L. 伊藤紀代司
 昭和20年4月9日生
 L. 末永廣美
 昭和15年4月7日生
 L. 原口和人
 昭和27年4月24日生



平成20年4月24日号
 通巻第66号
 PR委員会発行



【犬声狽語】

ボランティアって何かに

私はボランティアと聞くだけで体が萎縮してしまう。ボランティアの語源は「意志」。単に無料で働くということではないのである。

「自らの意志で」というところが崇高で貴いところがあるから、私にはそんな崇高や貴さが無いから身がすくむのである。

そんなことを永く考えていた頃があつてライオンズを辞めようと思っていた。今もボランティアという精神の欠落が頭を持ち上げて、ライオンズ会員を辞める外ないと思うのである。

人間のスランプがどのようにして起きてくるのかは人それぞれで解らないが、何にもしたくない、縦のものも横にしたくないという人間の心の落込みとはどこから出てくるのかやっかいな脳の病気である。人間以外の動物はこんな事で自殺はしないが、こんな心の悩み、病気が原因で自殺するのは人間だけだ。こんな人間が日本では1年間に3万人もいるそうだから事は深刻だ。社会問題にさえもなっている。人間のする行動とは手がかかるから困る。昨今の流行に子が親を、親が子を殺すことが流行っている。「誰でもよかったから殺したかった」不思議な社会現象である。社会評論家達が色々なことを言っている。これもよく聞いていると合点のいかない理屈が多い。

人間はテレビの出現で本格的バカになりだした。次は何をやり出すか私は興味深く見守っている。私のような人間でもこれから先の日本はどうなっていくのかと心配する。

ライオンズでゴルフでもして酒を飲んでいれば良いというのは個人的問題で、世の中の何の役にも立ちそうにない。歳をとっていくというのも厄介なものだ。一日を平穩無事にと思っているてもそうは簡単にはいなくなってきた。

久しぶりに心にも無いことを書いてみたが、先の例会でL. 江頭が25年の皆勤賞を授与された。又、L. 原が地区LCIF国際協調委員長の指名を受けられた。クラブの名誉である。

L. 安徳、L. 田中光夫、L. 丸田の三氏がメルビン・ジョーンズ・フェロー賞及びCSF II 勇気の騎士ピンを授与されたことはまさにボランティア精神の何ものでもない。

久留米りんどうライオンズクラブホームページ

HP <http://www2.ktarn.or.jp/~rindolions/> ブログ <http://blog.goo.ne.jp/kurumerindou/>